

# 新春のお慶びを申し上げます

— 任期折り返し!さらなる前進!! —

# 稲村ひさお 道政だより



皆様からの声、自らの考えを議会の場で堂々とぶつけていきます



発行  
稲村ひさお事務所  
〒073-0113  
砂川市晴見3条  
北10丁目9番4号  
TEL0125-54-3385  
FAX0125-54-3334

皆様、新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国政では原油・諸物価の高騰や年金問題、道政では地域医療の崩壊や支庁制度改革など、様々な問題が私達の生活に不安をもたらせました。今年こそ、安心と元氣を取り戻す年にしなければなりません。私は、二年前に皆様の温かいご支援で北海道議会に送り出させていただきました。早、折り返しの年となります。議会の場で発言する機会も多く与えられるようになってきました。今後もさらに、皆様の安心空知の元氣のために前進していくことをお誓い申し上げます。

最後になりましたが、今年一年が皆様にとってご健勝で、幸多き年であることをご祈念申し上げます。

北海道議会議員  
**稲村久男**



皆様に前に力がみなぎる



次代へ安心な世の中を!



ひさおちゃん、頑張ってね



高柳 連合北海道会長と



勉強は欠かせません



各地で声高らかに道政報告

日頃のご支援に心より感謝とお礼を申し上げます

# 平成20年第3回定例議会 一般質問 (抜粋)

## 公立病院改革について

過疎地のいわゆる不採算医療、不採算地区病院に対する交付税はどのような状況であり、国への要望はどのようになっているのか。

答 道内の市町村立病院の経営状況は厳しさを増しており、道としても交付税措置の拡充や支援制度の創設を要望し、公立病院特例債が創設された。今後とも国に対して積極的に働きかけていきたい。

「自治体病院等広域化・連携構想」について、各地域の検討会議でどのようなことが課題となっているか。

答 医療機関相互の役割分担や連携のあり方などについて、医師・看護師の確保対策、救急医療体制の確保、広域的な運営に伴う市町村の費用負担、患者の搬送体制や通院手段確保といった課題が出されている。

「自治体病院等広域化・連携構想」を推進するために、各地域の課題解決に向けて、道は、具体的にどのような主体性を発揮していくか。

答 検討会議に参画し、市町村間の意見調整など、積極的な役割を果たすほか、

国に対して地方財政措置の拡充や診療報酬の見直しなどについて要望し、地域医療の確保に重要な役割を果たしている自治体病院等に対する支援に最大限努めたい。

## 《稲村道議から知事へ指摘》

道が国へ地方財政措置の拡充を要請したことは評価するが、実効性のあるものとするためにも、さらに積極的に働きかけるよう指摘する。

また、自治体病院の広域化・連携については中核病院だけに大きな負担を強いることがないようにすべきであり、地域住民のために地域医療の機能分担が必要である。道は地域に任せるだけではなく、ひと肌脱ぐくらいの覚悟で地域医療の確保と自治体病院の健全化のために対応させたい。



## 夕張市の財政再生計画について

夕張市の財政再生計画は、財政を再建する計画ではなく、「借金返済計画」である。夕張市は21年度中に新たに財政再生計画を策定するが、知事の取り組み姿勢は。

答 市民が安心して暮らせる計画とすることが何よりも大切。積極的に助言・協力を行い、国にも協力要請などを行っていきたい。

これまでの道の支援について、どのように評価しているか。

答 市民生活への影響を最小限にとどめ、市の財政再建と地域の再生に向けた取り組みに寄与している。

来年度以降も夕張市へ支援するか。

答 今後も道民のご理解をいただきながら、必要な支援を行っていく。

現在、夕張市では、様々な課題が浮上し、現行計画では地域が崩壊する。これらの課題について、今後の計画でどう助言・協力していくのか。

答 現行計画を基本としつつ、修正が必要。夕張市における課題の整理や検討の段階から、市の考え方を十分に伺い、適切に対応したい。

行政体制の確立に向けた知事の見解は。

答 行政体制の確保は大変重要。事務事業の見直しやアウトソーシングなど幅広い視点から検討したい。

## 《稲村道議から知事へ指摘》

夕張市の人口が2年間で約1割も減少していることは、現行計画が市を再生する計画ではないことを証明している。今後策定する計画で借金返済ばかりに重点を置いては、単なる看板の掛け替えである。あくまでも夕張市、そして夕張市民の立場に立つて取り組むべきであることを指摘する。

また、夕張問題は夕張市だけの問題ではない。特に旧産炭地域では極端な行政体制改革で行政体制が崩壊しつつあり、「必要な助言や情報提供」だけではなく、実のある早急な対応が必要である。

